

# 健康メモ

## ついに出了、飲む禁煙薬！

広島市医師会理事  
津谷内科呼吸器科クリニック理事長 津谷 隆史

5月31日は世

界禁煙デーでした。世界保健機関（WHO）が制定した、禁煙を推進するため



の記念日で、喫煙と健康について考えるイベントが各国で行われました。日本でもこの日から一週間は禁煙週間として各地でキャンペーンが行われ、タバコの魔力にとりつかれた方々には、肩身の狭い思いをされた一週間だったと思います。タバコがやめられないのは、ニコチン依存症とい

う病気であることは、すでにこのコーナーで取り上げられていますので、またタバコの話かと思われるでしょう。しかし今回は、何度か禁煙に挑戦したが失敗した方、この機会に禁煙を試してみようかと思われる方に、たいへん明るいニュースをお届けします。

2006年より現在まで世界六〇カ国で処方されている飲む禁煙薬禁煙補助薬）がついに、5月から日本でも保険診療で投与可能になったのです。この薬は従来のニコチンパッチと異なり、ニコチンを含まない飲む薬（経口剤）です。タバコがやめられないのは、タバコの中のニコチンが脳内に入り、ニコチン受容体という部分に結合することで、ドパミンという物質が放出され、快感が得られた状態になっています。禁煙するとドパミンが産生されないため、いらいら、不安、集中力低下といった禁断症状（離脱症状）が現れ、つ

いタバコに手が出るのです。しかしこの薬を服用していると、脳内に分布するこの受容体に作用することで、禁煙に伴う離脱症状やタバコに対する切望感を軽減すると同時に、この受容体へのニコチンの結合を阻害することによって、喫煙してもタバコがおいしいと感じなくなるのです。

ニコチンパッチを貼ってかぶれた人、タバコをやめることができなくニコチンパッチ貼付に踏み切れなかった人、ニコチンパッチを貼ったまま喫煙していた人、タバコの値段が上がるまで禁煙に踏み切れない人、禁煙に挑戦していると周りの人に知られたくない人、家族に内緒で喫煙している人等々、この薬が投与可能となったこの機会に密かに禁煙に挑戦してみられてはいかがでしょう。さっそく保険証をもつて禁煙外来クリニックを受診しましょう。

